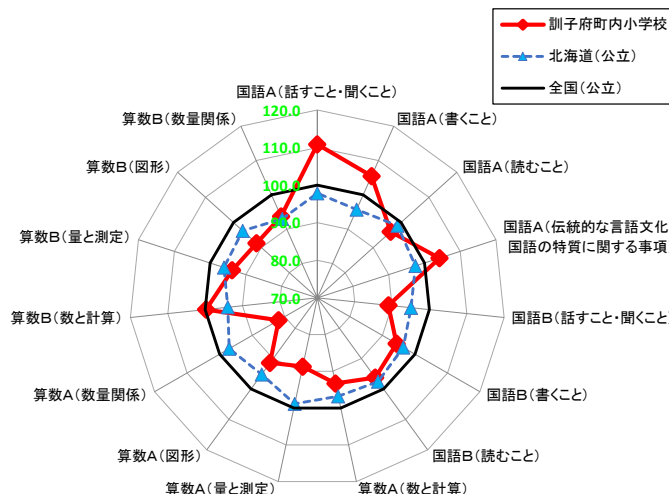


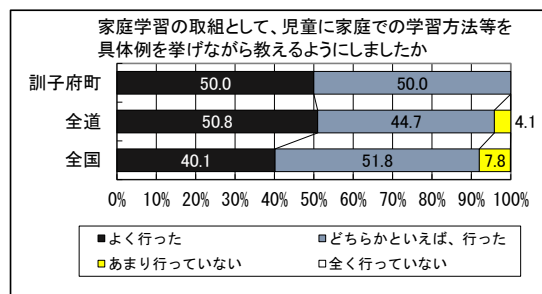
■訓子府町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2、児童数:41名)

【教科全体の状況】

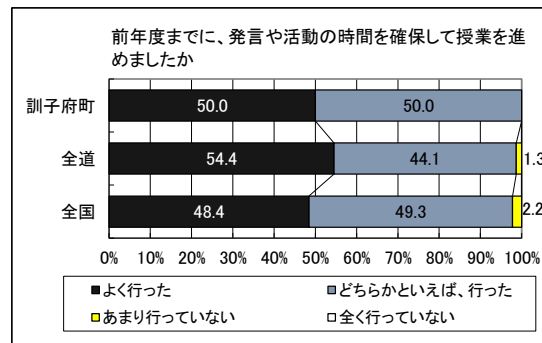
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



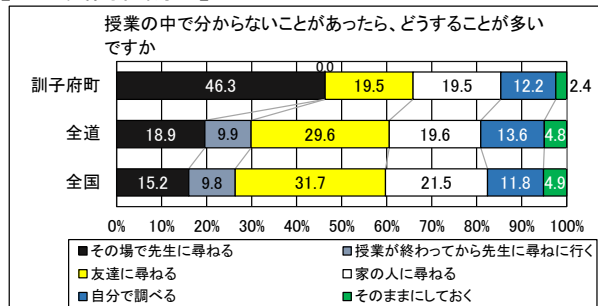
【学校質問紙調査】



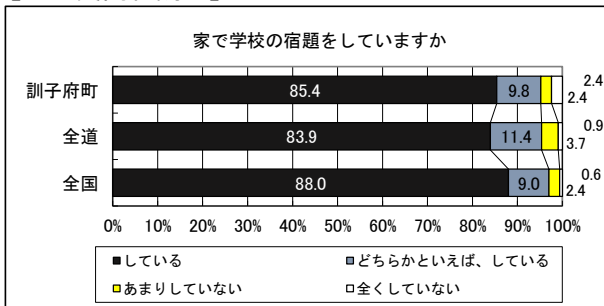
【学校質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【分析】

教科	- 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域で、全国を上回っている。 - 算数Bでは、「数と計算」の領域で、全国とほぼ同様になっている。	授業において思考する活動の時間を確保したことで、児童は分からないことを積極的に教員に質問するなど、主体的な学びの姿勢が身に付いたと考えられる。
児童質問紙	「家で学校の宿題をしている」と回答した児童の割合が、全国及び全道とほぼ同様になっている。 「授業の中で分からないことがあったら、その場で先生に尋ねる」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。	児童に宿題を与えたり、家庭学習の具体的な方法等を示したりすることにより、基礎的・基本的な学力の定着が図られたと考えられる。
学校質問紙	- すべての学校が「家庭学習の取組として、児童に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにした」と回答している。 「前年度までに、発言や活動の時間を確保して授業を進めた」と回答した学校の割合が、全国を上回っている。	

【訓子府町の学力向上策】

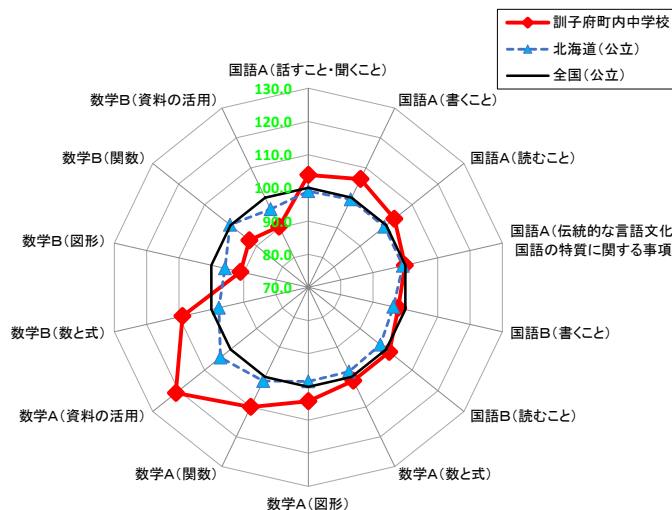
- ◎ 教員加配措置と臨時講師を活用したチーム・ティーチングや習熟度別少人数指導の充実
- ◎ 放課後や長期休業中の学習サポートの継続的な実施
- ◎ 語学指導助手の配置
- ◎ 地域の多様な人材や施設などの地域資源を生かした教育の充実

■訓子府町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1、生徒数:38名)

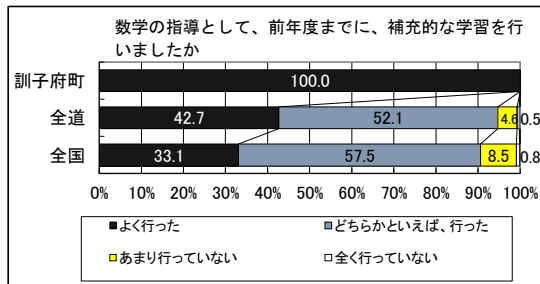
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

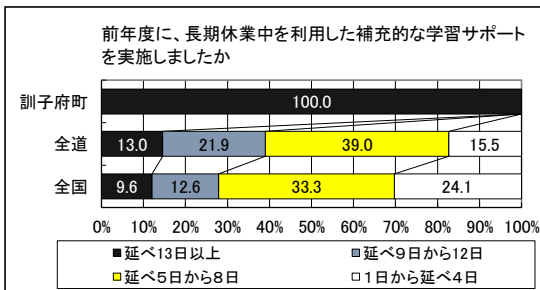
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



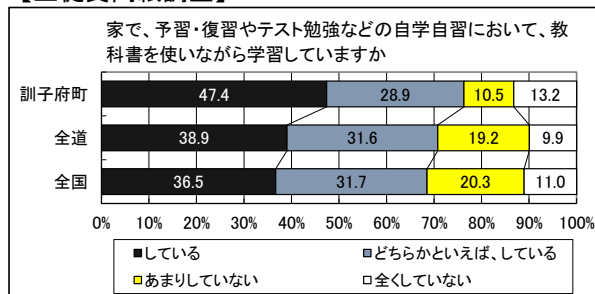
【学校質問紙調査】



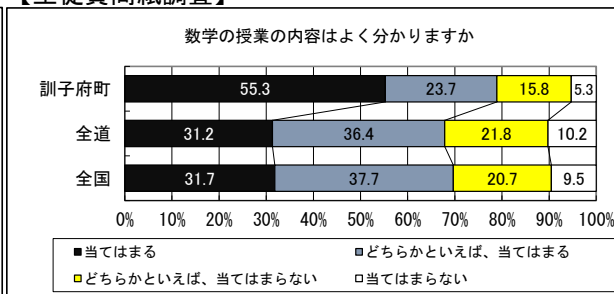
【学校質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の領域で、全国及び全道を上回っている。 ○ 国語Bでは、「書くこと」「読むこと」の領域で、全国とほぼ同様になっている。 ○ 数学Aでは、すべての領域で、全国及び全道を上回っている。 ○ 数学Bでは、「数と式」で、全国を上回っている。	○ 数学の授業において、補充的な学習を計画的に行ったことで、生徒は意欲的に学習に臨み、学力の定着が図られたと考えられる。 ○ 家庭学習の具体的な取組方法等を指導することで、生徒に、教科書を効果的に使いながら学習する習慣が身に付き、基礎的・基本的な力の定着が図られたと考えられる。
生徒質問紙	○ 「数学の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「家で、自学自習において、教科書を使いながら学習している」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。	
学校質問紙	○ 数学の指導として、前年度までに、補充的な学習をよく行った。 ○ 長期休業中を利用した補充的な学習を延べ13日以上行った。	

【訓子府町の学力向上策】

- ◎ 教員加配措置と臨時講師を活用したチーム・ティーチングや習熟度別少数指導の充実
- ◎ 放課後や長期休業中の学習サポートの継続的な実施
- ◎ 語学指導助手の配置
- ◎ 地域の多様な人材や施設などの地域資源を生かした教育の充実